

とやま経済

富山で日中経済協力会議開幕

# ビジネスの可能性探る

## 商談会に80社視察も

日本と中国の経済協力の在り方を議論する「日中経済協力会議」は21日、富山市の富山国際会議場をメイン会場に開幕した。初日は県内企業20社が中国企業60社との商談会に臨み、中国ビジネスの可能性

を探った。中国行政関係者らによる県内企業視察やレセプションパーティーもあった。会議は2000年から日中国の各地で開かれており、富山では初めて。23日まで。商談会では県内各社が同会

議場にブースを設け、独自の製品や技術をPRした。出展したリサイクル設備製造販売のエムダイヤ(滑川市中村)の森弘吉社長は「良いパートナーが見つければ、ぜひ事業展開したい」と語った。



視察では約100人が3コースに分かれ、不二越や三協立山の工場などを回った。中

県内と中国の企業合わせて80社がビジネスの可能性を探った商談会  
— 富山国際会議場

国側代表団の王大偉遼寧省長助理は県庁で寺林敏副知事と懇談し、同省への県内企業進出に協力を求めた。

レセプションは富山市のANAクラウンプラザホテル富山であり、石井隆一知事と主催者代表で日中東北開発協会の宗岡正二新日鉄住金会長、王遼寧省長助理があいさつ。高木繁雄県商工会議所連合会長の発声で乾杯し、久和進北陸経済連合会長、石澤義文県商工会連合会長ら約300人が歓談した。22日は全体会議などを行う。

# 北日本新聞

2016年(平成28年)  
11月22日  
火曜日